



満を持して実現した「岳下小学校岳分校」同級生4名による今回の対談。戦後の昭和・平成・令和の三時代を生きた皆さんの貴重な言葉を胸に、岳温泉の未来に思いを巡らそう。

令和3年の幕開けにふさわしい特別対談が実現した。今回お呼びしたのは、岳温泉旅館協同組合理事長の鈴木安一さん、長谷川酒店店主兼洗心亭マスターの長谷川正さん、丸井菓子舗店主の佐藤一郎さん、岳温泉仮装盆踊り大会メインボーカルの江口美喜子さんの4名である。

懐かしの新春対談実現 岳の生き字引が語る

復刻版

発行：岳温泉観光協会
〒964-0074
福島県二本松市岳温泉 1-1-6
TEL: 0243-24-2310
http://www.dakeonsen.or.jp

令和3年 冬号

みなさんは小学校からの同級生
といつごろでよろしかったでしょうか？
安一さん(以下敬称略)：岳下小学校岳分校だ。美喜子さん(以下敬称略)：今のファミリーマートあたりに校舎があったんだよ。
分校の時はみなさん同じクラスだったのですか？
一郎さん(以下敬称略)：いや、俺たちは人数が多かったから一緒にいなかったんだ。
正さん(以下敬称略)：親父たちが戦争から帰ってきた頃なんだよな。
美喜子：そう。それこそ産めや増やせやの時代だったからね。戦後で1番人数が多いよ。
みなさん岳温泉生まれですか？
安一：ほとんどそうだよ。俺は今住んでいるところの真下にあった産婆さんのところで取り上げてもらっただけ。
美喜子：私は飯坂。父親がそのあと土湯に行つて、岳に来たの。でも学校は全部こちだったわよ。
正：分校時代、秋には夕日ヶ丘あたりで新拾いしたな。夕日ヶ丘はアベックがよく逢引もしてた。
美喜子：展望台あたりから逢引風景がよく見えたよな。
安一：展望台だけじゃないよ、グラウンドの方からも見えたんだ(笑)
正さんは何人ぐらゐの子を、そのデートコースに連れて行っただけですか？
正：俺は連れ込んでないよ、まだ力だったんだから！(笑)
美喜子：覗く組だもんね。だから大人になるのが早かったんだ。
安一：笑
美喜子：それこそ当時は各家にお風呂なんてなかったから、共同浴場に入り行ったりするのが当たり前で、大体が混浴だったよな。
安一：みぎちゃんとも一緒に入ったことあったね(笑) あつま館は、俺の親父が作った造りなんだから入り口は男女別になっているけど中で繋がっている。しかも女性の脱衣所は脱いだら階段を降りて大浴場の方に来る設計だったんだ(笑)
美喜子：いろんな意味で眺めが良かったんだらうね。一同：笑
安一：学生の時に東京に。
一郎：菓子修行で六本木に。
正：スキー選手として群馬の会社に就職した。あの頃はみんな1回は外に出ようつていうのがあったんだ。
美喜子：私は若者として東京に出た。正直帰って来たくなかったわよ(笑)

どうして皆さんは岳温泉に戻ろうと思っただけですか？
正：やっぱり長男は戻って後継ぎしなきゃいけないってのがあったんだ。
美喜子：東京オリビックの時だったから、ものすごくいい時で帰りがたくなかったわ(笑)
一郎：俺は親父が2度目の手術をしたところで帰ってきた。六本木から四谷のお店に移ったばかりだったのに(笑)
正：その頃のお客さんはお金持ちが多かったよな。美喜子：お金の使い方が綺麗だったよな。接待が多くて、接待されている側が二次会行きたいって言えば接待している方は断れないから、なんぼでもお金使ってくれたよな。
正：給料なんてよく出ない。みんなチップ。店やつても1000円2000円のお釣りだったらマスターとつといて！って感じだった。
美喜子：着物の前か後ろからもチップを入れてられて、着物を脱ぐのに帯を外すとお金がポロポロと出たもんよ(笑) 私なんて「前はタメな〜」なんて言っているから開けてたもんね(笑)
一同：笑
皆さん「ニコニコ共和国時代はおいつくぐらゐの時ですか？
安一：32歳くらいはたかな。
新幹線が止まらないという危機感があった。
一郎：ちよと吉里吉里もやってたね。
美喜子：大統領になる人も揃ってたね。
実際主催者側はどう思っただけですか？
一同：売上が上がったよ(笑)
正：主催者側も楽しまないよ、お客さんは楽しくないよ、ニコニコ共和国はやってる俺らも楽しかったもん。忙しかつたけどとにかく楽しかった。
なるほどなるほど。
話が変わりますがリーマンショックやオイルショック、震災として「コロナ」
1番「たまねえな」と思っただけですか？
一同：「コロナだね」。
安一：たまったもんじゃなし。
一郎：どうなるか全然わかんない。ただ、個人的には震災の時か尾を引いている感じだけだね。
正：震災の時は本当に「もう岳温泉だめだ」と思ったね。温泉も止まったし、岳温泉どうするんだって考えたんだね。
安一：今回のコロナでは、県内や地元のお客さんを大切にしなければいけないって改めて思ったよ。もともと職員にしろもつていて、やっぱり大事だなって思ったよ。
美喜子：本当だね。地元で何回も来てくれる人を大事にしなきゃだめだね。

そうですね、新型コロナウイルス感染症はとんでもないですが、地元の方に来てくれるお客様のありがたみを実感するきっかけにはなりました1年だったと思います。
では、今年の抱負なんぞあれば教えてください！
正：今年の抱負ってわけではないんだけど、最近素泊まりのお客さんや1人旅のお客さんが増えているなと感じるわけ。夕食をあえて外でとるっていう若い人。そうなったときに、岳温泉は選択肢が少なすぎるなって思っただよな。空き店舗もあるわけだし、この際同業者でも良いからお店をやってくれる人がいるといいなって思っ。
一郎：去年、富士急さんに協力してもらって商品パッケージを変えたら、すごく好評だった。この「コロナ禍もなんとか乗り切っていくかな」な。
美喜子：私？私の今年の目標は、穏便に過ごしてあつま館をクビにならないように過ごしたいです(笑) それだけでございます(笑) 足も力カタカタになってきていますから、車いすでも働けるようにしてほしい(笑)
今年は美喜子さんの益明が聞きたいですね！
安一さんはどうですか？
安一：ちよと震災から10年の年に「コロナ」になって観光地どうしたらいいかと常に考えているが、ちよと知り合いにあった時に「年寄り住むには不便なんだ岳は」と言われた。車も運転が危ないからと取り上げられ、タクシーで野菜を買いに行くんだと俺の担当はキャベツなんだと。キャベツを買うためにタクシーで大玉に行つて、ランチしてタクシーで帰ってきたんだという話を聞いた。なんだと高いキャベツだよなと思った(笑)でもそれを聞いて、昔言う湯治場のようなものが温泉街の中心にあればいいんだと思っただ。1週間くらい滞在できてフロントでは鍵の受け渡しだけ。外に食べに行くこともできるけど、自分で食材を調達して料理もできるような今で言うゲストハウスのような営業スタイルが、これからの観光地や宿泊施設が生き残っていく道ではないかと思っただ。
美喜子：あとは若い子たちが好きになるように、やるように、年寄世代が土台を作るじゃないけど、足場を固めてあげないとね！
なんとも心強い先輩方だなと感じた。
良し時代も苦しい時代も経験しているからこそ、自分達だけのことはなく観光地としての岳温泉を自分事としてとらえ、まだまだ発展していくためのことを考えている皆さん。
「若き世代に頑張ってもらっただけでなく、私が出来ることが何でもやろう。私の今年の抱負が決まった瞬間だった。ご協力頂いた皆さん、本当にありがとうございました！」



拓太くん初めて会ったのは3年前の2月。岳温泉観光協会の会議室？物置？の引き戸を開けると私の目に飛び込んできた姿は「一生懸命ラミネートをしている拓太くんでした。」「面接に来ました。」「伝えると、ああ、はい。」「間もなく終わります。」「言いながら黙々とラミネートを続ける拓太くん。いつになつたら終わるの？と思いつつ「地域おこし協力隊の鈴木さんですか？」と問いかけると、「はい。そうです。」「と言、なんで知ってるんですか？」「と不思議そうなお顔をしましたね。

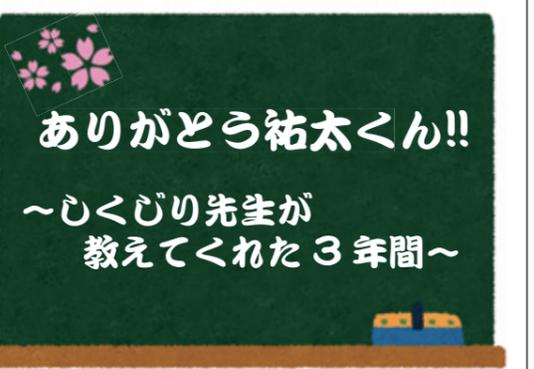
面接に来ているんだから、君のことも事前調査済みなのよ。仕事は楽しいですか？と聞くのはいい。楽しいです。とまた一言。まったく会話がキャッチボールにならないじゃないの。大丈夫か？兄ちゃん。と思ったのです。

それから程なくして一緒に働くこととなり、あつという間に3年が過ぎてしまいました。拓太くんが携わった事業の数は34件(しくじりの数ともいふ)実に素晴らしい！よく頑張った！「何かたしたもんなんだい？聞いてねえなあ。」というあなたは、先日行われた活動報告会の教科書とビデオを見てくんちえ。

そんな多忙な拓太くんは、ところかまわず「ねえ、拓太くん。ちよとちよと、これさあ？あのおさあ？O×△なんで。よろしくー」とお願していたのは私です。「またかよ。しょうがないなあ。と思っただけでしよう。でもいつも手伝ってくれ、素早く解決してくれましてね。おかげさまで、重い荷物を運ぶ必要もなかったし、高いところに手を伸ばさなくても済みました。Wordの裏技とExcelの計算式も使えるようになった気がする。(でもまたすぐ忘れそこ)はがきや封筒の印刷もできるよになった。(はずぎガフィルム使ってたちゃん)と送れるようになったわよ。(たぶん)丁寧に教えてくれてありがたうございませう。感謝の気持ちでいっぱいなんです。本当は、もう少し一緒に過ごしたかったな。東京には乃木坂、日向坂、櫻坂、拓太くんの好きな坂ばかりではありません。困難な坂もあることでしょう。そんな時は、空を見て「ほんとの空」はどこまでも繋がっているから、自分で決めた道をしっかりと歩いて行つて下さい。

てくてく歩く道をゆく
どおに続く道なのか、
そんな道々考えよう
もおしも行き止まりなら、
かあへ壁をうんしょ！
と越えればいい
戻れない道はない
今日もすうすうもおう(進もう)
Song by 嵐『道』

拓太くん初めて会ったのは3年前の2月。岳温泉観光協会の会議室？物置？の引き戸を開けると私の目に飛び込んできた姿は「一生懸命ラミネートをしている拓太くんでした。」「面接に来ました。」「伝えると、ああ、はい。」「間もなく終わります。」「言いながら黙々とラミネートを続ける拓太くん。いつになつたら終わるの？と思いつつ「地域おこし協力隊の鈴木さんですか？」と問いかけると、「はい。そうです。」「と言、なんで知ってるんですか？」「と不思議そうなお顔をしましたね。



新型コロナウイルスの感染が拡大した2020年。その影響は神社仏閣にまで及んでいた。各地の神社では、感染拡大防止の観点から手水の柄杓を取り払い、代わりに花を浮かべるようになった。花手水(はなちよづ)の始まりである。

二本松で花手水をやるなら、やっぱり菊だよな」地域おこし協力隊の情報交換会での何気ない会話から菊手水きくちよづは生まれる。8月の暑い日だった。

当初、協力隊を中心にやる予定だった菊手水は、ママ生産者の武藤さん、花屋の近美さん、二本松市役所の観光課、地元のお店など様々な人達に広がっていった。それは新型の感染症なんかよりも圧倒的に早く大きかった。

市内全域で開催した菊手水に市県内外からの方が見に来られた。インスタグラムを始めとする各種SNSでも多くの写真が投稿された。

謹賀新年



※やっばり10年前の写真です

2020年を振り返ると、家族や仲間と大きな声で笑ったり、好きな所へ自由に旅をしたり、そんな当たり前のことがコロナウイルスにより失われた。2年でした。「もう試練は十分と神様を恨みたくもありません。岳温泉は1200年という長い歴史、災害や動乱に巻き込まれながらも復興を成し遂げてきた、たくましい温泉地であり、それは今を生きている私たちの誇りでもあります。Withコロナや、ニューノーマルなどと言われるであろう1年が始まります。どんな一年になるのかは私たちの行動次第。神様を恨みたくない気持ちはすべて飲み込み、お越しになるお客様や、岳温泉とつながりをお持ちのすべての皆様に感謝の気持ちを忘れずに、岳温泉の明るい未来図を描けるよう、一致団結、岳温泉の底力をお示しできる1年にしたいと思っております。本年も岳温泉観光協会をどうぞよろしくお願ひ申し上げます。

観光協会長 二瓶 明子

菊手水、はじめました



岳温泉神社の菊手水をプロデュースした拓太くんともるちゃん

色とりどりの菊で、見に来た人の鬱屈した気分を少しでも癒すことが出来たのなら大成功だったと言えよう。

展示期間が過ぎてもおな色あせない菊手水。それは「来年も是非やって欲しい」という市民からの声や商工会議所女性会による「菊いかに」という菊手水の派生イベントからも見て取れる。人形に飾る。品評会に出す以外の菊・マムの新たな一面を市民の方に知って貰えたなら更に大成功だったと言えよう。

元来、菊は葬式に参列した人の「邪気払い」「無病息災」を願うという意味から主に葬儀などで使われている。今年ほど「菊」の意味を噛み締める年が来ないことを祈るばかりだ。

<p>かとう精肉店</p> <p>TEL:0243-24-2516</p>	<p>岳温泉管理株式会社</p> <p>TEL:0243-24-2301</p>	<p>喫茶ゆめのいえ 渡辺板金</p> <p>TEL:0243-24-2416</p>	<p>スナック菊乃家</p> <p>TEL:0243-24-2610</p>
<p>ヘアーサロン武田</p> <p>TEL:0243-24-2705</p>	<p>天然酵母ピザ ミンズヤード</p> <p>TEL:0243-24-3156</p>	<p>レストランティーポット</p> <p>TEL:0243-24-2316</p>	<p>四季彩の月</p> <p>TEL:0243-24-2878</p>

